

特集

生物多様性と情報開示

企業の自然関連リスク・機会と ネイチャーポジティブ実現に向けた情報開示

甲 賀 大 吾
小 峯 慎 司
白 石 拓 也
中 尾 圭 志

目 次

1. ネイチャーポジティブの全体像
2. 規制・ソフトローの動向
3. 企業にとっての自然関連リスクと機会
4. 先進事例
5. おわりに



甲賀 大吾（こうが だいご）

PwCサステナビリティ合同会社 ディレクター。ミシガン大学自然資源・環境大学院修士課程修了、MITスローン経営大学院修士課程修了(MBA)、ハーバード大学ケネディスクール修士課程修了。国際開発セクターにて、自然資源管理やカーボンファイナンス関連事業に従事。その後、戦略コンサルティングファームを経て、PwCに入社後は自然資本およびサーキュラーエコノミー分野の戦略策定支援に従事。著書に『日経MOOK ネイチャーポジティブ経営の実践』（日本経済新聞出版、2023年、共著）など。



小峯 慎司（こみね しんじ）

PwCサステナビリティ合同会社 シニアマネージャー。HEC Paris MBA修了。環境コンサルティング会社にて、サステナビリティ領域でビジョン策定から実行までを支援。PwCに入社後は、事業会社や金融機関に対する自然資本リスク評価やサステナブルビジネス支援に従事。著書に『日経MOOK ネイチャーポジティブ経営の実践』（日本経済新聞出版、2023年、共著）など。



白石 拓也（しらいし たくや）

PwCサステナビリティ合同会社 マネージャー。筑波大学大学院生命環境科学研究科修士課程修了。官公庁・民間企業に対する自然関連リスク・機会分析、再生農業等の施策実行支援、途上国でのコミュニティ支援等に従事。主な論文に“Enhancing the sustainability of tree growing by smallholder farmers in remote areas: an insight from Madagascar” (*International Journal of Agricultural Sustainability* 22(1)、2022年、共著) など。



中尾 圭志（なかお けいし）

PwCサステナビリティ合同会社 マネージャー。東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程在籍中。東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程修了。自然資本・生物多様性領域を専門とし、TNFD対応支援、自然関連リスク機会分析、方針・戦略策定支援等に従事。生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学政策プラットフォーム（IPBES）の Business and Biodiversity Assessment に協力執筆者として参画。